

プロジェクト名：B-FORME ○○工場開発システム

機能名： ユーザー情報一覧

企業名： B-FORME

所属： B-FORME第 1 Java開発部隊

責任者：

Copyright 2021 B-FORME inc.

プロジェクト名	B-FORME ○○工場開発システム	機能名	ユーザー情報一覧	作成日	2024年7月31日
				更新日	2024年7月31日

No	年月日	内容	更新者
1	2024年7月31日	新規作成	垣口
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			

プロジェクト名	B-FORME ○○工場開発システム	機能名	ユーザー情報一覧	作成日	2024年7月31日
				更新日	2024年7月31日

No	クラス名（論理名）	クラス名（物理名）	内容	備考
1	ユーザー情報一覧	Bfmk02Controller	ユーザー情報の検索、削除を行う	

No	メソッド名（論理名）	メソッド名（物理名）	内容	備考
1	初期画面	init	ユーザー情報の一覧表示を行う	
2	検索	search	ユーザー情報の検索を行う	
3	削除	delete	ユーザー情報の削除を行う	
4	クリア	clear	ユーザー検索情報を初期化する	
5	戻る	back	メニュー画面へ戻る	
6	ページネーション	pagination	ページネーションの内部処理を行う	
7	Formの初期化	clearForm	formを空にする	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

プロジェクト名	B-FORME ○○工場開発システム	機能名	ユーザー情報一覧	作成日	2024年7月31日
				更新日	

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	共通DTO	初期画面	IN	Dto	init
IN	ユーザー検索フォーム		IN	Form	
IN	モデル		IN	Model	
OUT	ユーザー情報一覧画面		OUT	String	

■ユーザー情報一覧の初期画面の表示する。

1.権限チェック

(1)サービスクラスのパブリックメソッド「権限区分検索」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
権限区分検索	共通DTO	-	-

(2) 参照・操作権限チェック

<条件1> 参照、操作権限が無い場合

- ・以下の入力項目とボタンを非活性にする。
検索ボタン
削除ボタン
クリアボタン

・戻り値をModelに格納する。

キー名称(論理名)	キー名称(物理名)	格納する値(論理名)	格納する値(物理名)
メッセージ欄	msinfo001	エラーメッセージID	msinfo001

2.初期処理

(1)権限別に所属IDを設定する。

<条件1> 管理者権限で遷移の場合

・所属IDをFormに格納する。

キー名称(論理名)	キー名称(物理名)	格納する値(論理名)	格納する値(物理名)
所属ID	affilicateld	共通DTO. 所属ID	affilicateld

・所属IDの入力項目を非活性にする。

(2)今日の日付けとDB上最も古い日付けを初期表示としてFormにセット。

- ・今日の日付を取得しフォーマット変換をする
- ・DBから最も古い日付けを取得する
サービスクラスのパブリックメソッド「古い日付けメソッド」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
古い日付け	共通DTO	-	-

・それぞれの日付をFormにセット

3.終了処理

(1)ユーザー情報一覧画面のHTML名「bfmk02View」を返す。

(2)処理を終了する。

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	ページネーションDTO	検索	IN	Dto	search
IN	ユーザー検索フォーム		IN	Form	
IN	モデル		IN	Model	
OUT	ユーザー情報一覧画面		OUT	String	

■ユーザー情報の検索処理を行う

1.入力値のチェック

(1)サービスクラスのパブリックメソッド「日付け変換」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
日付け変換	日付け 文字列型	-	-

<条件1> 日付け変換に成功

・未来日チェック処理へ

<条件2> 日付け変換に失敗

・エラーメッセージを表示 終了処理へ

(1)サービスクラスのパブリックメソッド「未来日チェック」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
未来日チェック	日付け 文字列型	-	-

<条件1> 正しい日付けを入力時

・検索処理へ

<条件2> 未来日を検出時

・エラーメッセージを表示 終了処理へ

(2)コントローラークラスのプライベートメソッド「ページネーション」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
ページネーション	INパラメータ. form	ページネーションDto Dto	モデル model

2.検索処理

(1)サービスクラスのパブリックメソッド「ユーザー検索」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
ユーザー情報検索	INパラメータ. ユーザー検索フォーム	ページネーションDto Dto	-

2.検索結果を返す処理

(1)戻り値をModelへ格納する。

<条件1> 検索条件該当データの取得無し

・エラーメッセージを表示

<条件2> 検索条件該当データを取得

・結果表示画面に検索結果を表示

3.終了処理

(1)ユーザー情報一覧画面のHTML名「bfmk02View」を返す。

(2)処理を終了する。

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	ユーザーID	削除	IN	List<String>	delete
IN	オフセット		IN	int	
IN	INパラメータ		IN	int	
IN	ページネ이션DTO		IN	Dto	
IN	モデル		IN	Model	
OUT	ユーザー情報一覧画面		OUT	String	

■ユーザー情報の削除処理を行う

1.削除可否のチェック

(1)削除対象のデータの有無をチェック

<条件1> 削除する当該データが選択されていない

- ・エラーメッセージを表示する。
- ・pageDtoにoffset値をセット。
- ・コントローラークラスのパブリックメソッド「検索」を呼び出す。

(2)終了処理

- ・ユーザー情報一覧画面のHTML名「bfmk02View」を返す。

2.削除処理

(1)サービスクラスのパブリックメソッド「ユーザー削除」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
ユーザー削除	INパラメータ, ユーザーID	-	-

- ・処理完了メッセージを表示する。
- ・pageDtoにoffset値をセット。
- ・コントローラークラスのパブリックメソッド「検索」を呼び出す。

3.終了処理

(1)ユーザー情報一覧画面のHTML名「bfmk02View」を返す。

(2)処理を終了する。

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	共通DTO	クリア	IN	Dto	clear
IN	ユーザー検索フォーム		IN	Form	
IN	モデル		IN	Model	
OUT	ユーザー情報一覧画面		OUT	String	

■ユーザー検索フォームに入力されたパラメータを削除しユーザー検索フォームを空にする処理を行う

1.ユーザー検索フォームの内容のクリア

(1)サービスクラスのパブリックメソッド「クリア」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
クリア	INパラメータ, ユーザー検索フォーム	-	-

- ・戻り値をModelに格納する。

2.終了処理

(1)ユーザー情報一覧画面のHTML名「bfmk02View」を返す。

(2)処理を終了する。

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	共通DTO	戻る	IN	Dto	back
IN	ユーザーID		IN	int	
OUT	メニュー画面		OUT	String	

■メニュー画面に戻る処理を行う

1.終了処理

(1)戻り値に、メニュー画面のHTML名「bfkt02View」を返す

(2)処理を終了する。

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	INパラメータ	ページネーション	IN	form	pagination
IN	ページネーションDTO		IN	Dto	
IN	モデル		IN	model	

■ページネーションの内部処理を行う

1.ページネーションにおける各値の設定

(1)1ページにおける表示件数の設定し変数に値を格納

- ・定数に値を格納

(2)サービスクラスからパブリックメソッドの「全件数」を呼び出す。

呼出メソッド名	引数1	引数2	引数3
カウントオール	INパラメータ. ユーザー検索フォーム	-	-

- ・全レコード数を所得し変数に格納

(3)総ページ数を設定し変数に値を格納

(4)offset値を現在ページとして設定し変数に値を格納

(5)最初のページのoffset値を設定し変数に格納

(6)次のページのoffset値を設定し変数に格納

(7)前のページのoffset値を設定し変数に格納

(8)最終のページのoffset値を設定し変数に格納

(9)最初のページへと前へボタンの非表示処理

<条件1> 最初のページ表示時、最初のページへと前へボタンを非表示する

- ・モデルに真偽値を格納する

(10)最後のページへと次へボタンの非表示処理

<条件1> 最後のページ表示時、最後のページへと次へボタンを非表示する

- ・モデルに真偽値を格納

2.終了処理

(1)各値をmodelに格納

(2)処理を終了する。

引数（論理名）		メソッド名（論理名）	引数（物理名）		メソッド名（物理名）
IN	INパラメータ	Formの初期化	IN	Form	clearForm

■formを空にする

- 1.Formの各値を初期化する。
 - (1)Formの各値に空白をセット
- 2.終了処理
 - (1)処理を終了する。